

第4回 マクロビオティック医学シンポジウム 「乳がん、そのときあなたは何を食べますか？」 ～最前線医療とマクロビオティックから学ぶ対策～



◆開催日:2013年5月6日(日・祝)

◆開催場所:江戸東京博物館

第4回のマクロビオティック医学シンポジウムは、GW中にも関わらず300名ほどの方にご来場いただきました。テーマが「乳がん」ということで、特に女性の方のご来場が目立ちました。

今回の講演では、日本総合医学会会長 渡邊昌先生の医学的なお話をはじめ、食養指導家 磯貝昌寛先生の食養生のお話、元・乳がん患者の方、現役内科女医で乳がん患者の方々の体験談を聞くことができ、さまざ

まな観点から「乳がん」を考えることができました。

磯貝先生のお話ではマクロビオティックで「乳がん」を克服された事例をはじめ、食事療法や手当法、経過などを細かく伺うことができました。

マクロビオティックや手当法の説明では、多数の方が熱心にメモを取っていらっしゃいました。

元・乳がん患者の方のお話では、ご自身の壮絶な人生や過去を赤裸々にお話いただき、生命力・自然治癒力を高めることが大切であること、薬以上にストレスを抱えることが大敵であることを教えていただきました。

中でも印象的だったのが、「乳がんに感謝」という言葉です。食事や生活習慣を正すことで、長年の不調やアトピーをも克服し、今が一番体調良く人生が楽しいという事でした。

現役内科女医・乳がん患者の方のお話では、最先端の情報提供はもとより、医者としての知識と患者としての葛藤。ご自身の実体験を通してのお話は、病気を抱えていらっしゃる患者様やそのご家族の方のお役に立てたことと思

います。

渡邊先生からは、治療をする際の手術や入院等の費用をはじめ、さまざまな現実問題をアドバイスしていただきました。その他、ホルモン剤の影響を受けている外国産の牛肉や乳製品をやめること。玄米菜食・運動をする事など実践的なアドバイスも多数いただきました。

今回のシンポジウムでは、食・心・体すべてが大切であること。病は医者のもものではなく自分自身のもの。正しい判断力を身につける事など普段の生活でも大切な事を改めて気づかされた内容でした。

ご来場の方の中にはご自身やご家族の方がご病気の方も多数いらっしゃったと思いますが、このセミナーに参加された方は未来への希望が持てたのではないのでしょうか？

レポート:オーサワジャパン 高木



日本総合医学会会長 渡邊昌先生



月刊マクロビオティック別冊 バックナンバーのお知らせ

右記バックナンバーは在庫がございます。
あわせてご注文ください。

No. 8294 マクロビオティック医学シンポジウム「食で糖尿病を治せるか!？」

No. 8274 マクロビオティック医学シンポジウム「食でがんを治せるか!？」

No. 8299 マクロビオティック医学シンポジウム「いのちを考える!」

◆1冊(B5) 各300円(税込) ※在庫数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。